

2026 年度 法学研究科入学試験問題（修士課程）（秋期）

民事法学・公法学専攻（英 語）

受 験 番 号		氏 名	
------------------	--	------------	--

以下の英文を和訳しなさい。

(Samuel D. Warren & Louis D. Brandeis, "The Right to Privacy", *Harvard Law Review*, vol. 4, no. 5. 1890, pp. 193-196)

2026 年度 法学研究科入学試験問題（修士課程）（秋期）

政治学専攻（英 語）

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

以下の英文を日本語に訳しなさい。

出典 Schmitter, Philippe C., and Terry Lynn Karl. "What democracy is... and is not." *Journal of democracy* 2.3 (1991), pp. 75-76.

答案用紙別紙

2026 年度 法学研究科入学試験問題（修士課程）（秋期）

民法法学・公法学専攻（日本語）

受験番号		氏名	
------	--	----	--

交渉に関する次の文章を読み、各問題に答えなさい。

- 問題一 傍線部①に関して、交渉に際して「双方に利益的な代替案の探求」あるいは「価値の創造」を実現するために具体的にすべきこととして文章中に記されていることを説明しなさい。（八行以内）
- 問題二 分配型交渉と統合型交渉とは、それぞれどのようなものであるか、両者の違いが明確に分かるように説明しなさい。（五行以内）
- 問題三 傍線部②に関して、本文中で例示されている小説家と出版社が、お互いの「動機」に基づいて交渉するとはどのようなことであるかを説明しなさい。そして、それは「立場」に基づく交渉とどのように違うのかも、あわせて説明しなさい。（八行程度）

（出典）小林秀之編『交渉の作法』弘文堂・二〇二二年（出題に当たり構成等を一部変更した。）

2026 年度 法学研究科入学試験問題（修士課程）（秋期）

政治学専攻（日本語）

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

次の文章を読み、各問に答えなさい。

（出典：高根正昭『日本の政治エリート―近代化の数量分析』中央公論社、一九七六年）

問一 傍線部①の特徴について説明しなさい。

問二 傍線部②について説明しなさい。

問三 文章で示された政治エリートの観念を踏まえ、日本以外の国をひとつあげ、その国における政治エリートの循環について具体的に記述しなさい。

2026 年度 法学研究科入学試験問題（修士課程）（秋期）

共 通（中国語）

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

次の（１）および（２）の文章を日本語に訳しなさい。

（胡適「再論建國與專制」『獨立評論』第 82 号、1933 年）

*問題作成にあたり、原文テキストの一部を削除した。

（張東冬「人工智能軍事化與全球戰略穩定」『國際展望』2022 年第 5 期）

2026 年度 法学研究科入学試験問題（修士課程）（秋期）

共 通（スペイン語）

受 験 番 号		氏 名	
------------------	--	--------	--

次のスペイン語を日本語に訳しなさい。

出典：Yusuke Murakami y Enrique Peruzzotti coords. *América Latina en la encrucijada: coyunturas cíclicas y cambios políticos*, (Xalapa, Veracruz, México : Universidad Veracruzana, 2021) の序章“Fin de tres ciclos y el comienzo ¿de qué?” より抜粋し、一部修正。

答案用紙別紙